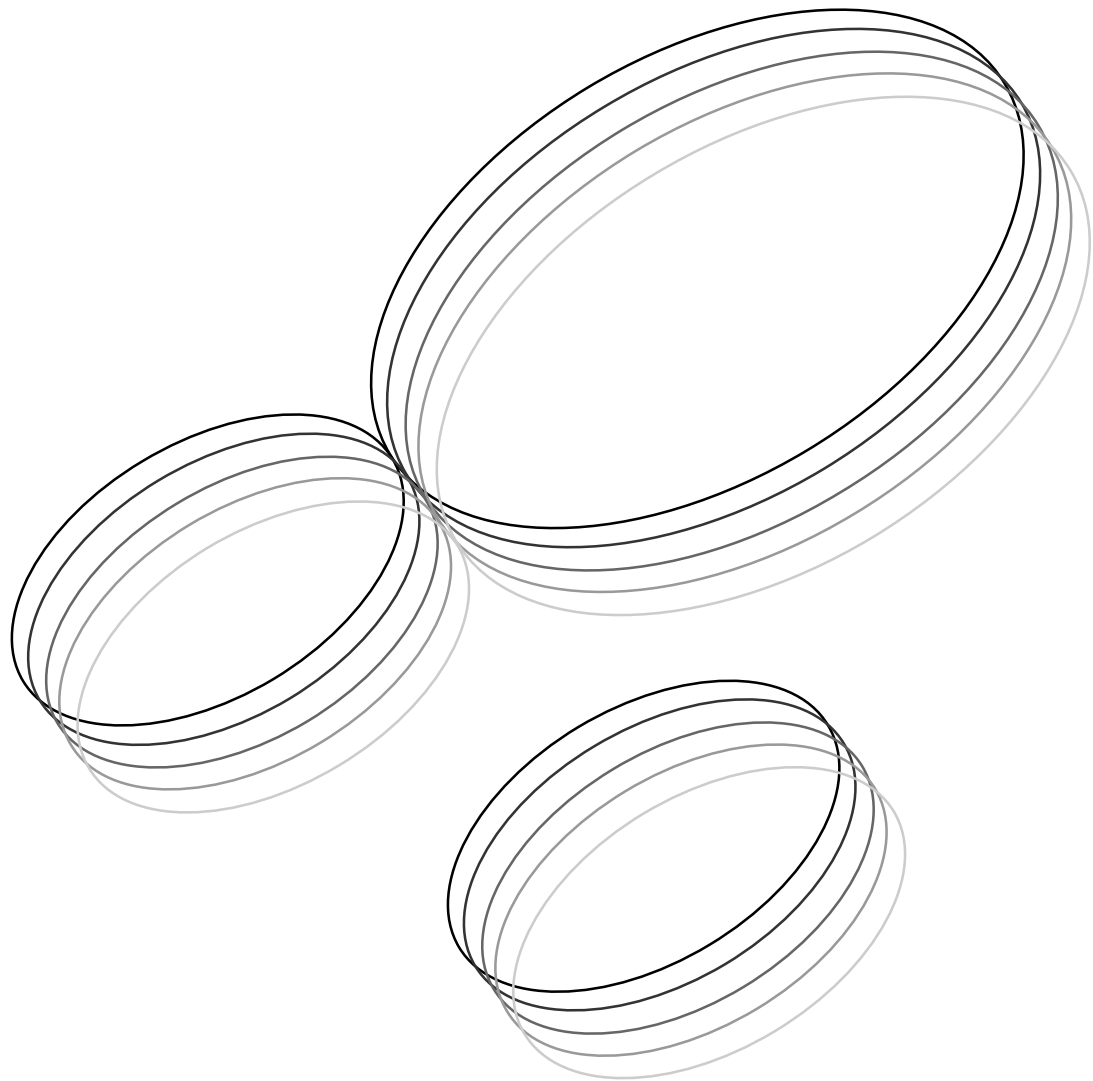
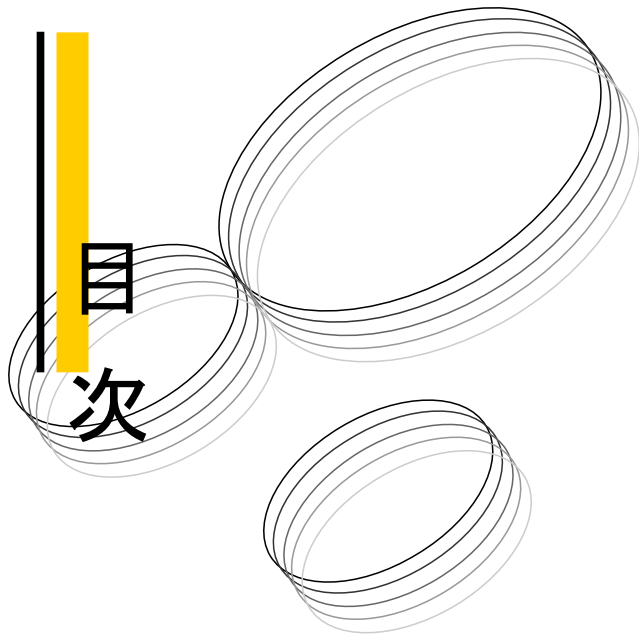


災害時要援護者の避難支援・ 避難生活支援セミナー 被災現場と障害当事者からの提案



日 時 平成 20 年 9 月 5 日 (金) 13:00~16:00
会 場 名古屋都市センター 大研修室 (金山南ビル 11 階)
主 催 社会福祉法人 A J U 自立の家
後 援 愛知県、名古屋市、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会



開催要項	1
参加者内訳	2
プログラム	3
資 料	5
1. 被災現場からの報告	5
2. 講演	23
3. 今後の展開への提案	25

開催要項

趣 旨

昨年3月の石川県能登半島地震、7月の新潟県中越沖地震、また本年6月の岩手・宮城内陸地震など大災害が頻発し、東海地方も近い将来高確率で予測される東海地震・東南海地震・南海地震の連動により大災害の危機が迫りつつあります。

今回、能登半島地震で威力を発揮した要援護者マップづくりとふだんからの見守り活動について、輪島市からの報告をいただき、災害時要援護者台帳の整備、特に平時における準備と、災害時における活用の課題に迫ります。

主 催

社会福祉法人 A J U自立の家

後 援

愛知県、名古屋市、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会

日 時

平成20年9月5日（金） 13:00～16:00

会 場

財団法人名古屋都市センター 大研修室
〒460-0023 名古屋市中区金山町1-1-1 金山南ビル11階
TEL (052)678-2200

対象者

自治体消防・防災関係者、保健福祉関係者、社協関係者、
障害当事者団体、災害ボランティア、福祉サービス事業者
※ 参加意向があれば誰でも参加可能とする

展 示

避難所間仕切セット、ポータブルトイレ、文字情報表示装置等の事例紹介、
GIS（地理情報システム）を使った避難支援システム

本日の参加者

参加者内訳

議会	0名
行政	27名
社会福祉協議会	21名
福祉施設	5名
地域包括支援センター	15名
医療機関	9名
障害当事者団体	5名
災害ボラ	9名
大学・学生	0名
その他	10名
合計	101名

名古屋市	13名
愛知県	68名
岐阜県	12名
三重県	8名
合計	101名

主催者挨拶・趣旨説明..... 13 : 00~13 : 05

A J U自立の家専務理事 山田 昭義

被災現場からの報告..... 13 : 05~14 : 05

『能登半島地震における要援護者支援について

—要援護者マップづくりとふだんからの見守り—』

石川県輪島市健康推進課 林平 成子氏

休 憩..... 14 : 05~14 : 15

講 演..... 14 : 15~15 : 00

『防災エンパワーメント』のためのGISとその課題

愛知工業大学地域防災研究センター

研究員 西村 雄一郎先生

休 憩..... 15 : 00~15 : 10

今後の展開への提案..... 15 : 10~15 : 40

『GISによる要援護者台帳のデータベース化の提案』

わだちコンピュータハウス 所長 水谷 真

質疑応答..... 15 : 40~15 : 55

閉会挨拶..... 15 : 55~16 : 00

わだちコンピュータハウス 所長 水谷 真

被災現場からの報告 13 : 05 ~ 14 : 05

『能登半島地震における要援護者支援について
— 要援護者マップづくりとふだんからの見守り —』

石川県輪島市健康推進課 林平 成子氏

能登半島地震における要援護者支援について

「要援護者マップづくりと普段からの見守り」

輪島市健康推進課 主幹 林平成子

1

能登半島地震の被害状況

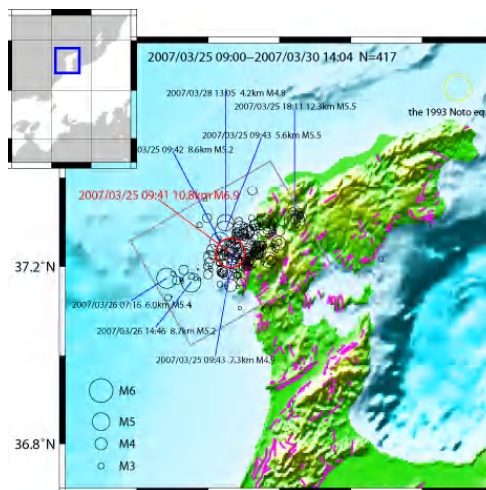
1 地震の概要(気象庁情報)

- ①発生日時
平成19年3月25日 午前9時41分
- ②震源地
輪島市能登半島沖(北緯37.2度、東経136.7度)
- ③震源の深さ 11km
- ④規模 マグニチュード 6.9
- ⑤震度6強
- ⑥津波注意報
9時43分発令(11時30分解除)
石川県珠洲市 11時13分 20cm観測

2 人的・住家被害の状況 (平成20年1月31日現在)

- ①輪島市人的被害
死者 1人
行方不明者 0人
重傷者 46人、軽傷者 69人
- ②住家被害
全壊 513棟
半壊 1,086棟
一部破損 9,988棟

※一部破損については義援金における一部損壊の申請件数である。



2

輪島市における要援護者の状況

①輪島市の人口は33,166人、高齢化率は36.0%で、平成26年には高齢化率40%を超える見通しである。

地区別では最も高い地区で高齢化率が65.2%で、高齢化率40%を超える地区は17地区中9地区である。

②独居世帯は2,403世帯で18.4%、最も高い地区で32.1%である。

③介護保険認定者（要支援1～要介護5）は1,624人で、65歳以上高齢者の13.6%である。

④障害者数は、身体障害児者数は1,854人、知的障害児者数213人、精神障害児者数103人で経年的にみると増加傾向にあり、障害者の大半が高齢者である。

身体障害児者の中でも肢体不自由が最も多く1,049人、次に内部障害が489人、言語聴覚障害184人、視覚障害134人と続く。

近年、心臓や呼吸器（肺など）、消化器（胃や腸など）、腎臓など内臓障害者が増加傾向にある。

要援護者の対応検証ワークショップ

調査期間 : 平成19年5月15日～8月8日(5日間)

調査対象者 : 要援護者と関わりの深い関係者

(特に被害の大きかった地区の関係者等)

7会場、75人

民生・児童委員、福祉推進員、区長・町内会長

公民館長・主事、地区消防団長、

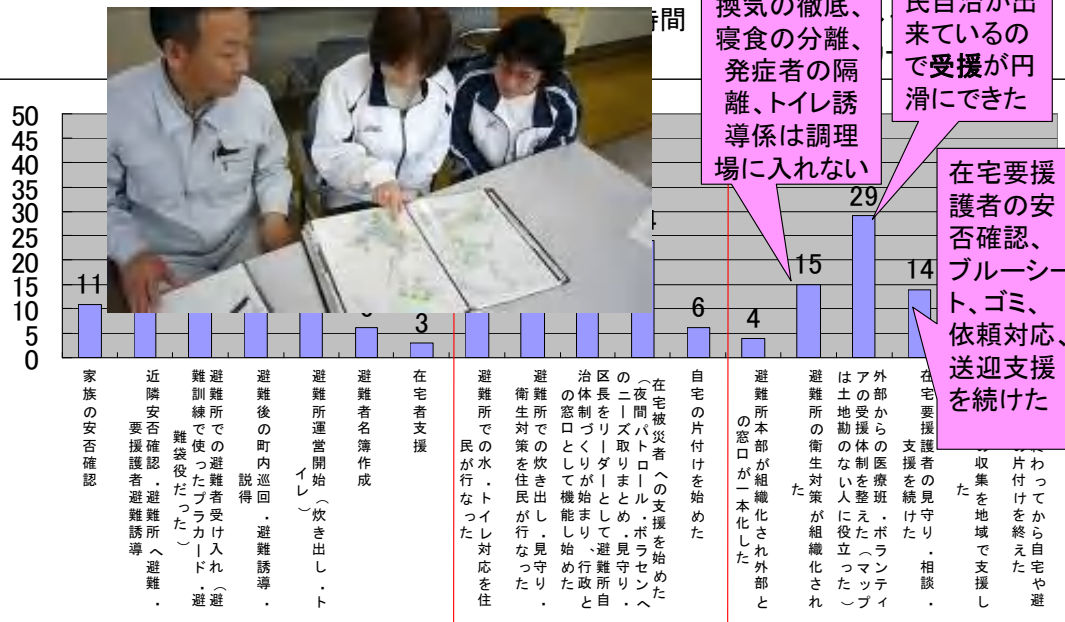
地域包括支援センター職員、保健師

市内ケアマネジャー、

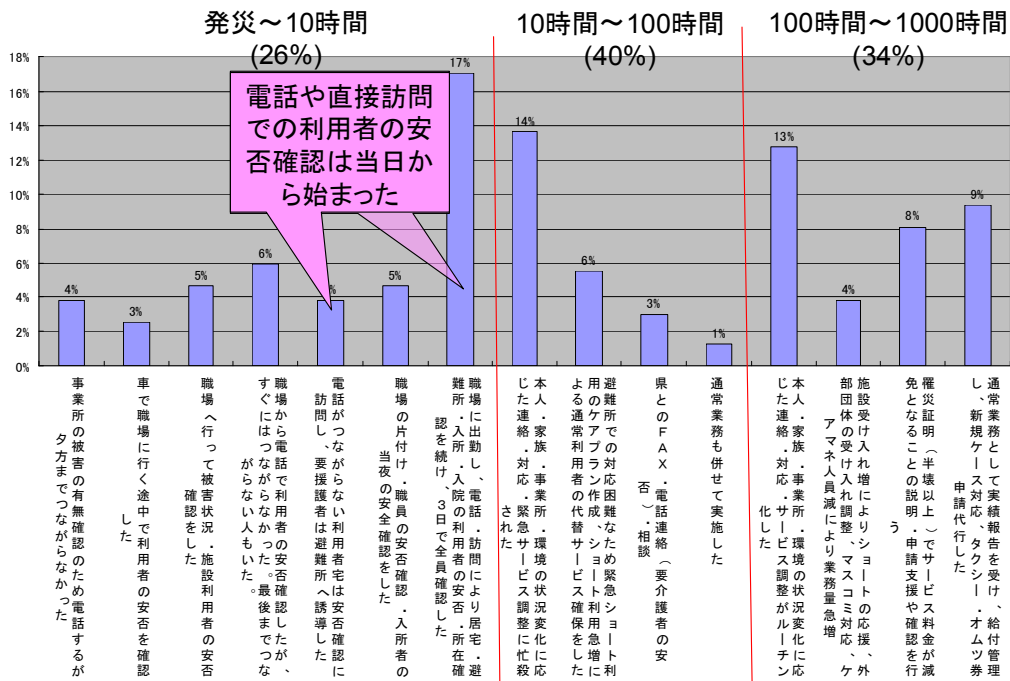
市災害対策本部、保健・福祉等行政職員等

検証方法 : 震災時に自分のとった行動を直後～10時間、10時間～100時間、100時間～1000時間に分けて振り返りを行った。

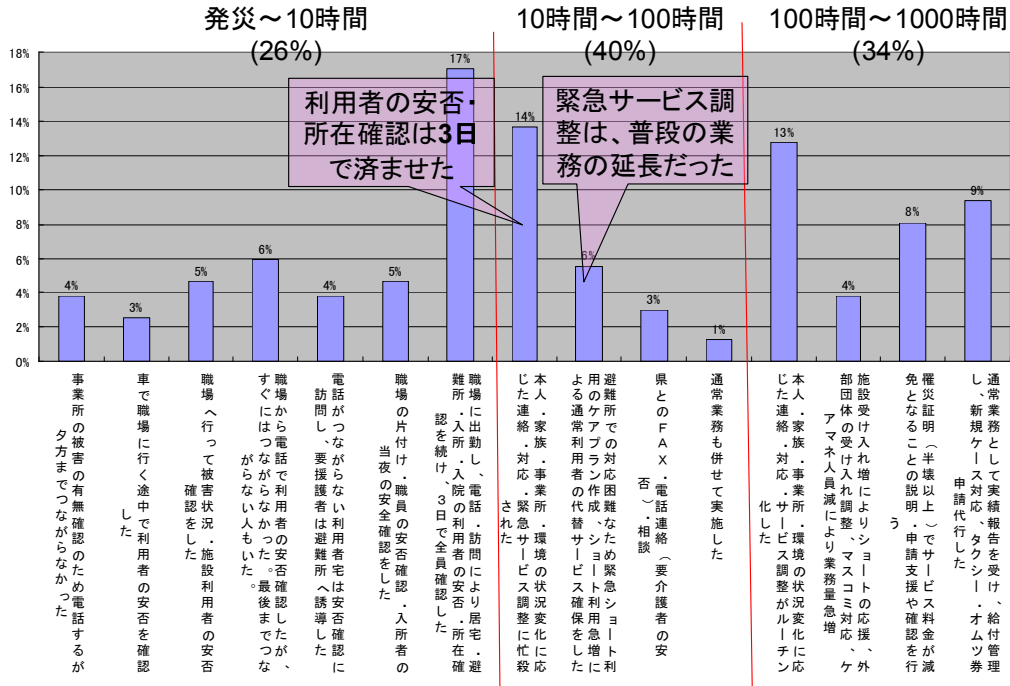
地域住民(諸岡・黒島・門前)の行動(N=281)



ケアマネージャーの対応(N=235)

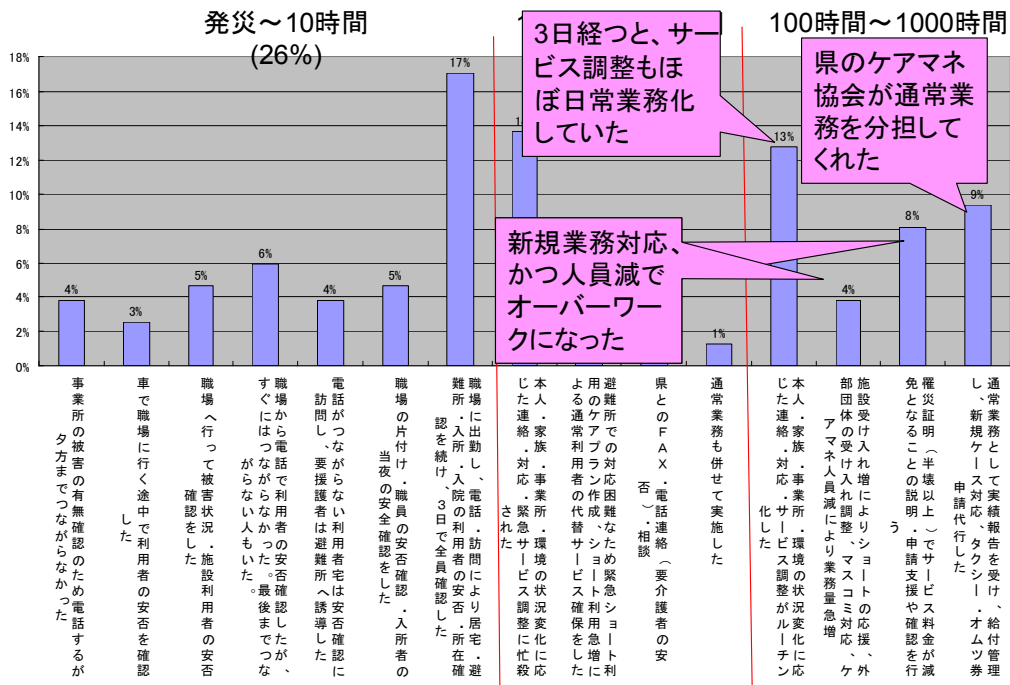


ケアマネージャーの対応 (N=235)



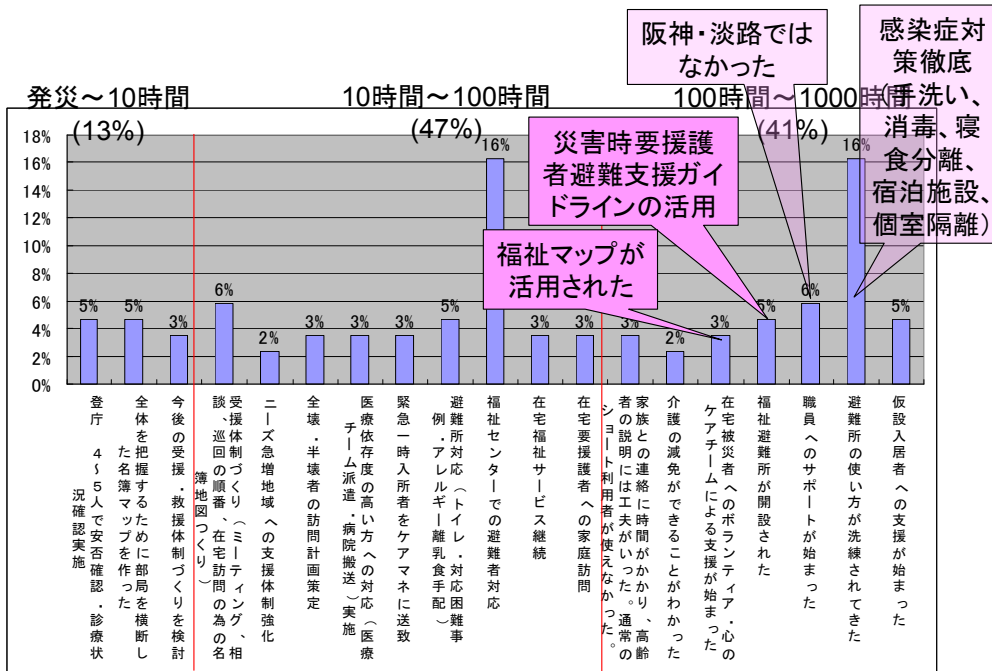
9

ケアマネージャーの対応 (N=235)



10

健康推進課の対応(N=86)



13

検証結果

— 指示待ちからの脱却 —

- 平常時からの見守り
- マップによる安否確認
- 重層的な安否確認
- 防災訓練
- 地域の絆

14

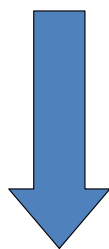
旧門前町 民生委員・福祉推進員の見守り活動



15

災害時の要援護者支援と「地域見守りネットワーク」

- 阪神淡路大震災を機に孤独死対策を目的に、平成7年から民生児童委員・福祉推進員で「地域見守りネットワーク」を結成。
- 民生児童委員及び福祉推進員1人で高齢者や要介護者4～5人を日常から見守りする体制。



「地域見守りマップ」の作成(分類して色分け)

寝たきり高齢者

ひとり暮らし高齢者

高齢者だけの世帯

身体障害者等世帯

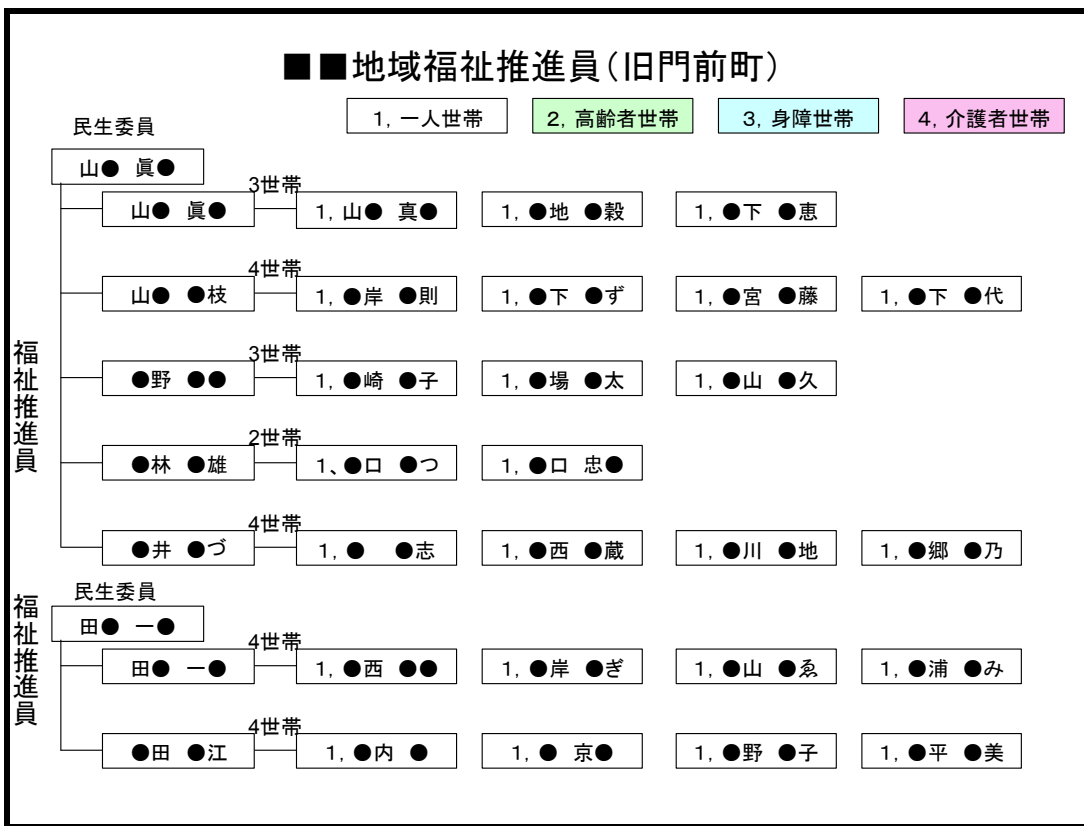
地震発生時から短時間で高齢者などの安否確認ができた。

※日頃の地域のつながりが、人的被害を最小限にするとともに、その後の避難所などの運営にも大きく影響したと考えられる。

16



17



18

要援護者の見守りネットワーク構築の ための関係機関・関係課のワークショップ

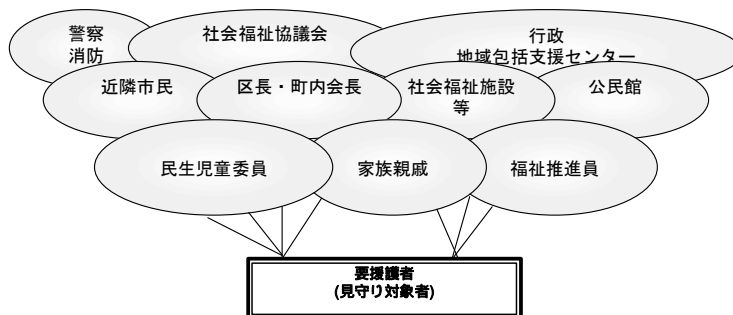
- 開催日時：平成19年9月4日、9月5日、12月18日、
平成20年3月21日
- 関係機関参加者：輪島消防署担当者、輪島警察署・穴水警察署担当者、
輪島地区・門前地区区長会代表者、
民生・児童委員代表者、社会福祉協議会担当者、
福祉避難所設置介護保険事業所担当者、
輪島地区・門前地区公民館代表者、
- 関係課参加者：放送課、生涯学習課、財政課、保険課、福祉課、
門前総合支所健康福祉課、
健康推進課(地域包括支援センター含む)
- 議事内容：①輪島市における高齢者・障害者等の生活の現況
②現在各地区で実施している見守り活動の現状と課題
③能登半島地震における住民の避難誘導の状況と課題
④その他、見守りネットワーク構築に際しての要望・配慮
事項等

19

輪島市 「高齢者・障害者の見守りネットワーク」

基本理念

- 1．誰もが住み慣れた地域で安全で安心した生活を送れる社会づくり
- 2．市民の全員参加によるネットワークづくり
- 3．交流と相互理解による地域の絆づくり



20

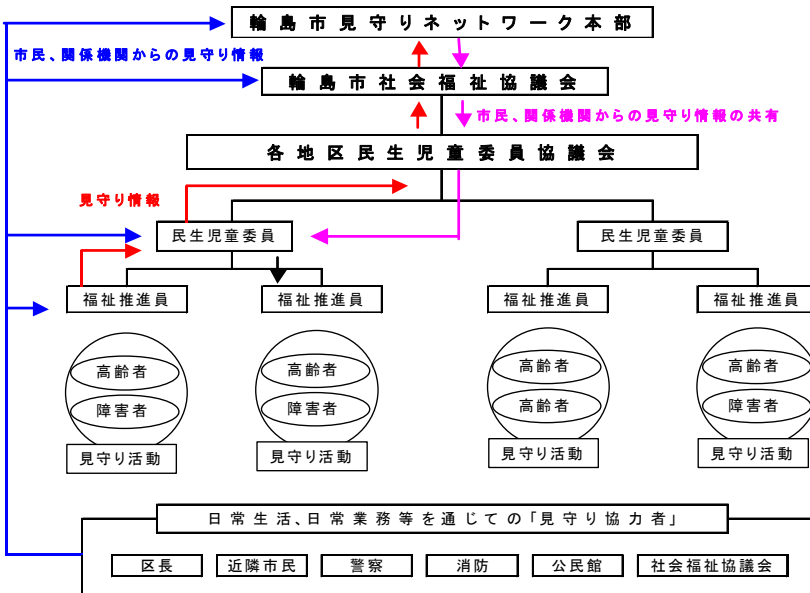
見守り対象者

市では、このネットワークの見守り対象者を以下のようにしました。

- ◎ 75歳以上のひとり暮らし高齢者
- ◎ 75歳以上の高齢者夫婦世帯
- ◎ 要支援・要介護認定者（要支援1～要介護5）
- ◎ 障害児・者
 - 身体障害区分
（上肢1～2級、下肢1～6級、視覚1～2級、聴覚1～4級、内部1～2級）
 - 知的障害
（療育手帳A交付対象）
 - 精神障害
（通院公費負担対象）
 - 肢体不自由児
（身体障害区分に準じる）
- ◎ 65～74歳の高齢者で特に配慮が必要と判断される方



見守りネットワーク本部の立ち上げ



輪島市見守りネットワーク本部

主管課 健康推進課
(地域包括支援センター)

総務課

保険課

福祉課

門前総合支所
健康福祉課

＜主な機能・役割＞

- ①見守り対象者の決定
- ②民生児童委員・福祉推進員の協力依頼
- ③見守り基礎情報の収集・蓄積・管理
- ④見守り情報の集約
- ⑤見守り情報に基づく適切な対応の手配
- ⑥災害時の適切な避難措置の指示
- ⑦見守りネットワークへの市民の理解醸成

要援護者登録 申請書

共有情報はシンプル
につとめる
詳細な情報は見守り
本部で適宜追加シート
を作成する

要援護者台帳登録申請書

共有情報

輪島市長 様

私は、要援護者台帳登録制度の趣旨に賛同し、要援護者台帳への登録を申請します。
また、私が届けた下記個人情報を市が民生児童委員、福祉推進員、消防署及び警察署に提出することを承諾します。

平成 年 月 日 (本人) 住所 輪島市
氏名 印
(記入者) 氏名

該当する対象区分に○をつけてください
高齢者等：75歳以上の一人暮らし・75歳以上の高齢者のみの世帯・介護認定(実1・実2・介1・介2・介3・介4・介5)
障害児・者：身体障害者手帳1～2級・下肢1～6級・視覚1～2級・聴覚1～4級～・療育手帳A・精神障害者通院公費
その他：遺尿・在宅酸素・人工肛門・人工膀胱 ()

住所	輪島市	氏名			
生年月日	明治・大正・昭和・平成	年	月	日生	歳
血液型	型	家族(本人含む)	人		
緊急時の連絡先	親族を中心とする限り多くの方を登録してください。居住地欄には、市内、金沢、大潟等の地域名を記入してください。				
①氏名	続柄()	電話(自宅)	/携帯()	居住地()	
②氏名	続柄()	電話(自宅)	/携帯()	居住地()	
③氏名	続柄()	電話(自宅)	/携帯()	居住地()	
④氏名	続柄()	電話(自宅)	/携帯()	居住地()	
知らせておきたい情報	④認知症状：有・無				
①現在治療中の病気：有・無	⑤移動方法：担架・車いす・杖・自立歩行				
②かかりつけ医	⑥現在受けている福祉サービス等				
③体重 Kg					
避難経路図	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 家庭図面 ◎普段いる部屋 ●寝室 </div> <div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;">1階</div> <div style="margin-bottom: 10px;">2階</div> </div>				
あなたの担当の民生児童委員又は福祉推進員					
民生児童委員	氏名	住所	電話		
福祉推進員	氏名	住所	電話		

見守り活動記録

民生児童委員・福祉推進員が概ね週1回訪問等により情報収集して活動記録を残します

平成 年度 福祉推進員見守り活動記録

対象者氏名			推進員名		
対象者住所			緊急連絡先		
電話番号			緊急連絡先		
月	訪問した日	天候 該当に○	見守り情報 (健康状態、精神状態で要注意、要連絡に○をした場合は特記事項に具体的な内容を記入)		
			健康状態	精神状態	特記事項
4月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
4月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
4月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
4月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
5月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
5月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
5月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
5月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
6月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
6月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
6月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
6月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
7月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
7月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
7月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
7月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
8月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
8月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
8月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
8月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
9月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
9月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
9月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
9月	日	晴・曇・雨・雪・雷	元気・要注意・要連絡	元気・要注意・要連絡	
小計	日				

登録台帳の作成と平常時見守りネットワークの構築

今後のスケジュール

- ① 返信葉書の登録希望確認
- ② 連名簿作成(登録希望・返信無し) (H20年7月末)
- ③ 登録申請書作成の家庭訪問打合せ
 - ・市内ケアマネジャー
 - ・各地区民生・児童委員協議会
 - ・見守りネットワーク各課 (H20年8月末)
- ④ 家庭訪問実施 (H20年9月～11月)
- ⑤ 要援護者登録申請台帳とマップの完成
 - ・警察・消防・民生委員・行政で情報の共有
- ⑥ 全市における平常時の見守り活動開始 (H20年12月～)

現在の民生児童委員・地域福祉推進員

	民生委員数	福祉推進員数
輪島地区	78	200
門前地区	41	149
合計	119	349

平成20年4月1日現在

台帳登録希望者

	要援護者数	登録希望する	登録希望しない
輪島地区	2,973	1,602(53.9%)	415(14.0%)
門前地区	1,626	947(58.2%)	251(15.4%)
合計	4,599	2,549(55.4%)	666(14.5%)

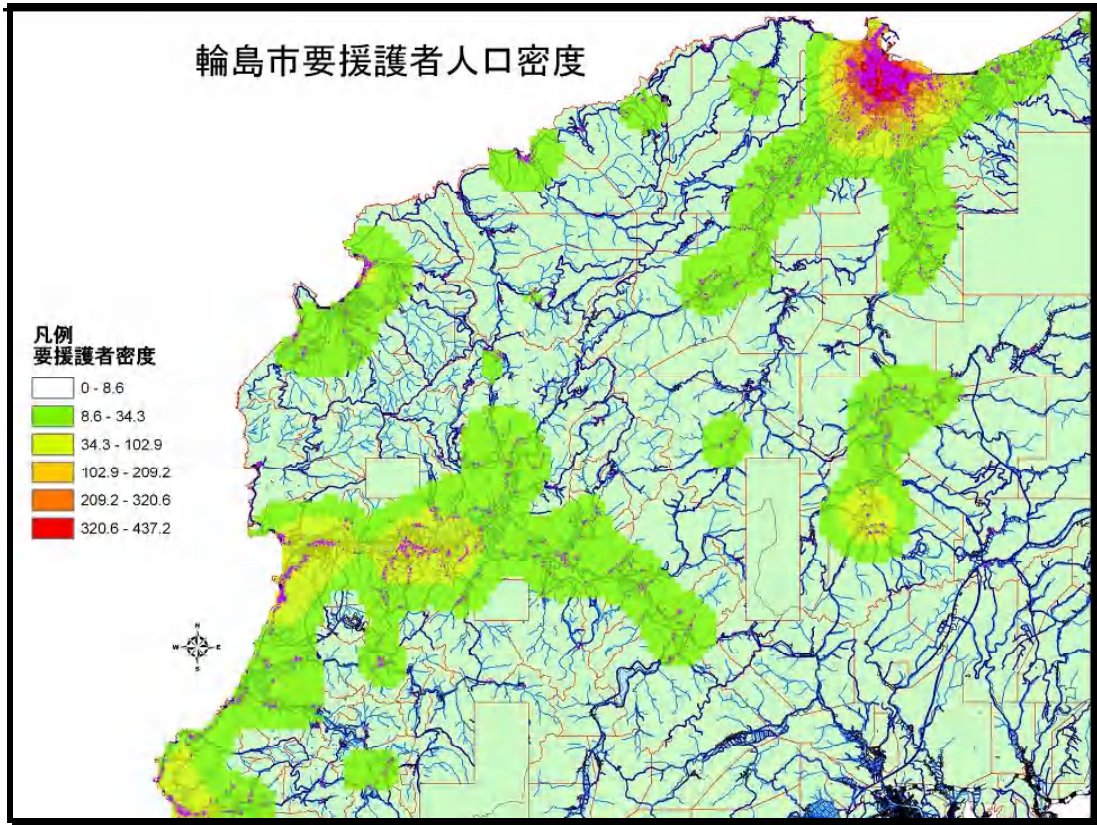
平成20年8月25日現在

27

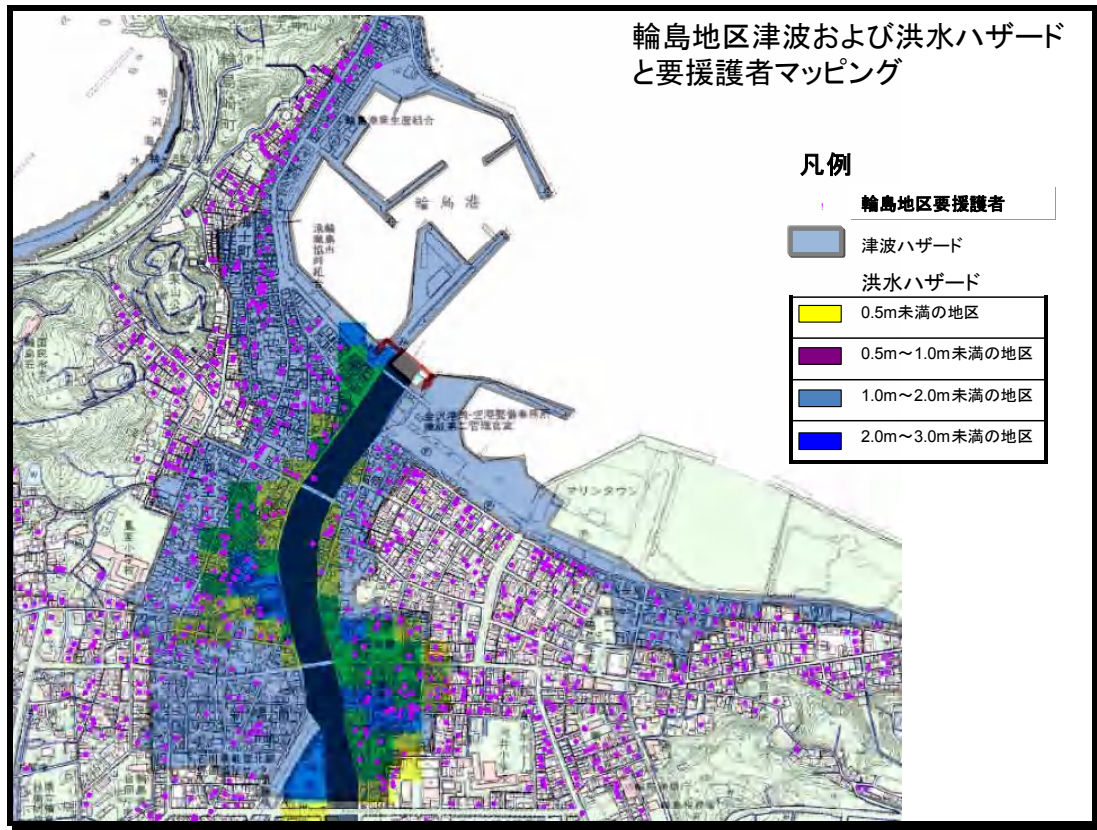
災害時要援護者のGISデータベース構築 ワークショップ

開催日時	平成20年3月19日 平成20年4月10日 平成20年7月 1日
関係課参加者	見守りネットワーク本部 健康推進課(地域包括支援センター含む) 保険課、福祉課、総務課、都市整備課、災害復興支援室 門前総合支所健康福祉課
内容	①見守りネットワーク本部での情報一元化 ②GIS研修(全庁職員対象) 見守りネットワーク本部 関係課の受講 ③要援護者台帳とハザードマップのリンクについて ④個別避難計画づくりについて

28



29



30

個別避難計画づくりに向けて —GISマップを活用して—

- ①地区組織・市民向けの啓発活動の実施
 - ・出前講座の実施等
- ②見守りネットワーク本部の機能強化
 - ・災害時・緊急時対応を視野に入れ防災担当との連携を強化する
 - ・地域の見守り関係者との連携を強化する
- ③優先順位に基づく自主防災組織の立ち上げ
(河川・津波ハザードマップにより脆弱な地域、
輪島川兩岸の河井・鳳至地区からスタート)

31

今後の課題

- ・民生児童委員・福祉推進員の教育・育成
- ・見守り活動への幅広い市民の参加促進
- ・危機管理マニュアルの作成
- ・災害時連絡体制の構築
- ・災害時移動手段の確認と確保

32

講演 (別刷1) 14:15~15:00

『防災エンパワーメント』のためのGISとその課題

愛知工業大学地域防災研究センター 研究員 西村雄一郎先生

西村雄一郎先生 略歴

<略歴>

現職	愛知工業大学地域防災研究センター ポストドクトラル研究員
1994年	名古屋大学文学部史学科卒業
1997年	名古屋大学大学院文学研究科博士前期課程(史学地理学専攻)修了
2003年	名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程(史学地理学専攻)満期退学
2003年	名古屋大学大学院文学研究科博士(地理学)取得
2003年	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所講師 (研究機関研究員) 研究プロジェクト4-2「アジア・熱帯モンスーン地域における生態史モデルの構築1945-2005」所属(～2005年)
2005年	愛知工業大学地域防災研究センター ポストドクトラル研究員 現在に至る

<委員など>

2004年4月～ 2005年3月	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立民族学博物館外来研究員
2005年4月～ 現在	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 共同研究員

今後の展開への提案（別刷2） 15 : 10～15 : 40

『GISによる要援護者台帳のデータベース化の提案』

わだちコンピュータハウス 所長 水谷真

MEMO

